

# 浜松ごみ減量大作戦

## 市と自治会がスクラム

家庭のごみ排出量を減らす取り組み「ごみ減量天下取り大作戦」のキックオフイベントが十九日、浜松市南区の可美公園総合センターで開かれた。市の担当者が生ごみの水切りの徹底や、お菓子の箱や封筒といったリサイクルできる「雑紙」の分別強化を呼びかけた。

(大城愛)

市と自治会の連携事業で、二〇一六年度の環境省の調査によると、一人当たりの一日の家庭系ごみの排出量が二十政令市で最少なのは、大阪



「ごみ減量の取り組み宣言をする寺田成一委員長と大使に任命された出世大名家康くん」浜松市南区で

## 政令市で最少 目指す

市で三百五十六ポンド。浜松市は四百九十ポンドで十一位となっている。

イベントでは、徳川家康ゆかりの地で「ごみ排出量最少の天下」を取ることを目指し、市の担当者が一八―二〇年度の取り組み計画を説明。家庭系ごみの排出量を一人当たり百四十ポンド減らす目標を掲げた。

市自治会連合会の寺田成一環境部会委員長は「実践を市民に促す活動に取り組み、自らも実践していく」と宣言。このほか静岡県立大の新井映子教授による「食品ロスとごみ減量」と題した講演もあった。

市と自治会は今後、「ごみ減量に関する説明会などを開き、大使に任命されたゆるキャラ「出世大名家康くん」と一緒にPR活動を進めていく。